

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00			3.2
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.6	0.50			
1 開口部遮音性能	住居部:遮音等級T-2以上	3.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		1.0	0.35	3.0	1.00			2.6
2.1 室温制御		1.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温		1.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.4	0.25	3.3	1.00			3.1
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30			
1 昼光率	共用部:2.5%以上、住居部:2.0%以上	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	住居部:カーテン、庇にて制御	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15	1.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		3.6	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保	3.0	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					2.8
1 機能性		2.5	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉の間隔は1m以上とし、外壁は防汚性の高い磁器質タイルを採用し、外部の金属部材はアルミ及びステンレスを採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当の仕様	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水PEP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.4	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		1.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.2	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	基準階の階高2.960	3.0	-	2.8	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	-	4.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	1.0	0.40	
3.3 設備の更新性				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.2	1.00	-	-	
	2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕・更新可	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		4.0	0.20	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.10	-	-	
	6	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.99	4.2	0.50	-	-	4.2
集合住宅以外の評価(3a.3b)				3.0	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)			BEI=0.92	4.2	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上材及び木下地工法を採用している	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、かつGWP=1のノンフロを採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率71%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明等なし	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	